

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	定期的な開催(1回/2ヶ月)が確実に実施されていない。出席される家族の方が限られている。年度計画に会議開催日を記載するも予定通り開催出来ず	運営推進会議の定期開催(1回/2ヶ月)を実施。利用者の全家族の方が最低年1回以上6回開催予定)の出席。近隣(町会及び事業所)の出席者を増員	GH側の日程調整を明確化(年間行事に明文化)。家族様へ運営推進会議の出席依頼および議事録の配布徹底。地域住民・事業所への参加呼びかけを継続的に行う等広報活動の充実。ホーム玄関(入口)に議事録の公開することで会議への関心と必要性をご理解とご協力を図る	12ヶ月
2	38	火災や地震、水害等の災害時における職員の対応と地域との協力体制が不十分である。	あらゆる災害に対して職員ができるだけ沈着冷静に判断・対応ができる。また災害状況や利用者の状態等の中で最善の安全が確保出来るよう再度マニュアルの見直しと訓練の実施	ホームの環境等に合わせた災害対策マニュアルの作成(見直し)と利用者の状態や自然災害等多様な状況に合わせた訓練の実施。地域住民(町会等)と協力した防災訓練の実施を運営推進会議等を通じて早期開催を図る	12ヶ月
3	5	連絡を密に取り、情報提供等十分に行なっているとは言えない	普段から市担当者と積極的に交流・連携し、運営やサービスの課題解決に向けて協議していける関係づくり	運営推進会議以外でも相談・助言を市担当者に求める等、連携を深める努力を行う	12ヶ月
4	8	現状、身体拘束を行なわないケアを実践しているも転倒リスク回避のためにご家族側より身体拘束を強く要望された場合の対応	ホームの方針として身体拘束を実施しないケアを継続	身体拘束に関する勉強会等の定期的開催。ご家族様とホームの方針、リスク回避のマニュアル等開示面談を重ねご理解とご協力を求める	12ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。